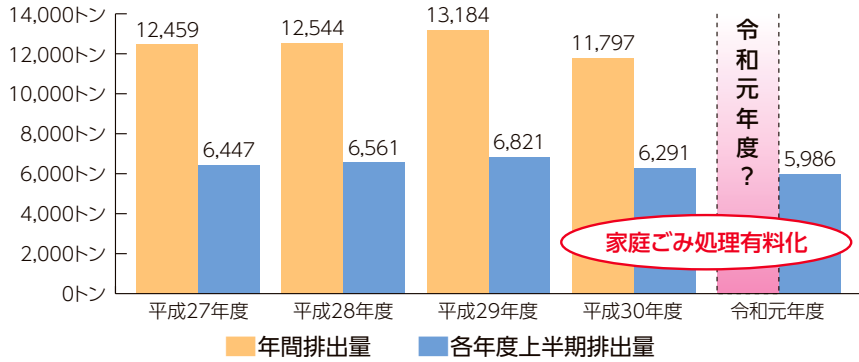


ごみの減量化にご協力を

平成30年4月からスタートした「家庭ごみ処理手数料」の有料化により「ごみの減量化」が図られました。有料化によるごみの減量効果は期待できますが、年数の経過とともに増加する場合がありますので、引き続き「ごみの減量化」に努めましょう。

年度別家庭ごみ排出量



家庭ごみ処理手数料の有料化を導入した平成30年度のごみの処理量（資源物を除く）は11,797トンで、平成27年度比較では約5.3%、平成28年度比較では約6%、平成29年度比較では約10.5%の減量となりました。

市民一人1日当たりのごみの排出量(家庭ごみ)

*人口は各年度10月1日現在

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ごみ排出量	12,459トン	12,544トン	13,184トン	11,797トン
人口	59,970人	59,555人	59,095人	58,633人
一人1日当たり	568g	577g	611g	551g

◎ごみ減量化への取り組み

- ・「ごみ」と「資源物」の分別に努めましょう。
- ・食材の買い過ぎ、料理の作り過ぎに注意し、食品ロスをなくしましょう。
- ・詰め替え製品の活用や店頭回収ボックスを利用しましょう。
- ・不用品の再利用を考えましょう。

問 環境センター (☎553325)

市道の凍結防止のための融雪剤を配布します

■配布方法

建設総務課または各支所にて配布します。原則として町内会長が手続きをしてください。配布対象は、市道など市の管理する道路です。1回に配布する量は、2袋（1袋25kg）程度が基本です。ただし、申し出内容により必要と認められる場合はその数とします。

■有効な散布方法

積雪時や道路が凍結しているとき、路面上に多少の水分がある場合に散布すると効果があります。また、1カ所にまとめて散布してもあまり効果はありません。薄く均等に散布してください。融雪剤が固まった部分は、竹ぼうきなどでならしてください。

注意してください

雪の降る前にあらかじめ散布すると、スリップ事故などの危険性があります。

必ず積雪後に散布してください。また、散布時は交通事故に十分気を付けてください。



問 建設総務課 (内線553)